



おしえて「文化財」

問 埋蔵文化財センター
☎27-0333 FAX 27-0334

東松山市の歴史② 縄文時代の始まり 茅場遺跡出土の土器

今から1万4千年前に氷河期が終わりを迎えるころ、気候が温暖になり植生が変化すると、木の実がなる広葉樹の森が広がります。旧石器時代にはマンモスやオオツノジカなどの大型獣を追い求める遊動的な生活をしていましたが、イノシシなどの獲物が小型化することで弓矢が発明され、さらに植物の採集活動が行われるようになると、次第に定住化が進みます。縄文時代の始まりです。縄文時代は、古い順から草創期・早期・前期・中期・後期・晩期と6つの時期に区分されます。

草創期の遺跡は全国的にも少なく、これまで市内でも見つからないため、東松山市域の草創期については分からないのが実態です。続く約1万1千～7千年前の縄文早期では、茅場遺跡(神戸)、緑山遺跡(旗立台)、五領遺跡(若松町)などで土器が見つっています。

茅場遺跡出土の土器は、底部が尖っていることが特徴で、尖底土器とも呼ばれます。尖底土器は、屋外でたき火に突き立てて使われます。このことから、市域ではまだ、定住生活ではなく、獲物を追い求めて、一時的なキャンプをしながら生活するのが主流だったと考えられます。



茅場遺跡 土器出土状況



茅場遺跡 土器の底部



(注)茅場遺跡は、現在の「清澄ゴルフ倶楽部」敷地内にありました。

おすすめ

学校給食レシピ

～チンジャオロースー～

監修 学校給食センター栄養教諭



今月は「チンジャオロースー」を紹介します。チンジャオロースーを漢字で書くと「青椒肉絲」です。「青椒(チンジャオ)」はピーマン、「肉(ロー)」は肉、「絲(スー)」は細切りを意味しています。

材料(4人分)

・豚肉	200g	A	・酒	5g (小さじ1)
・ショウガ	5g		・しょうゆ	6g (小さじ1)
(チューブの場合は3cm程度)			・きび砂糖	3g (小さじ1)
・タマネギ	50g (1/4個)		・しょうゆ	18g (大さじ1)
・タケノコ水煮	70g	B	・オイスターソース	6g (小さじ1)
・ニンジン	100g (1本)		・顆粒鶏ガラだしの素	3g (小さじ1)
・ピーマン	70g (3個)		・片栗粉	6g (小さじ2)
・サラダ油	4g (小さじ1)		・ごま油	4g (小さじ1)
・トウバンジャン 少々				

～作り方～

- ①ショウガはみじん切り、タマネギは半月切り、豚肉・ニンジン・タケノコ・ピーマンは細切りにする。A・Bの調味料をそれぞれ混ぜ合わせておく。
- ②フライパンにサラダ油・ショウガ・トウバンジャンを入れ、炒める。
- ③香りがでてきたら、豚肉・Aの調味料を入れ、中火で炒める。
- ④豚肉に火が通ったら、タマネギ・タケノコ・ニンジンの順に加え、炒める。
- ⑤ニンジンに火が通ったら、Bの調味料を加え、味を調える。
- ⑥ピーマンを加えさっと炒めたら、一度火を止める。
- ⑦水に溶いた片栗粉をまわし入れながら混ぜる。
- ⑧もう一度火にかけ、最後にごま油をまわし入れたら完成。

問 学校給食センター
☎22-0741 FAX 22-0742

教えて！
危機管理監

防災

を考えよう！ ペットとの避難



災害時にペットを連れて避難できるの？



「ペットと一緒に避難所へ行けるのか」と不安を感じる人も多いのではないのでしょうか。指定緊急避難場所や指定避難所(以下、避難所)が開設されたときは、ペットと同行避難することができますが、避難所は多くの被災者が避難生活を送る場所です。動物が苦手な人や動物アレルギーを持った人もいますので、人とペットが安心して避難生活を送れるよう同行避難やペットの飼育ルールについて考えてみましょう。



東松山市
危機管理防災課
小林危機管理監

危機管理監は、災害時の危機管理について、その知識や経験を持って、災害対策本部長である市長を補佐します。



市HP

同行避難とは

○災害発生時にペットと一緒に避難所まで避難することです。避難者とペットが同一の空間に居住することを意味するものではないので気を付けましょう！

※補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)は居住スペースに入ることができます。



ペットの飼育ルール

○ペットと同行避難した飼い主は、各避難所のルールに従いましょう。
・えさやり、清掃等を行い、飼育環境の維持、衛生管理をしましょう。
・キャリーバッグやケージ、リード、ペットフード等を用意しましょう(避難所にはペットの災害用備蓄品はありません)。

※ペットの受入れ可能施設等詳細については、市HPをご確認ください。

問 危機管理防災課 ☎21-1405 FAX 22-7799

いきいきチャレンジ！シニアクラブ

このコーナーでは、地域の人とつながるシニアクラブの活動内容、参加した人の効果などを紹介します！

■みんながキラキラできることを目指して 桜山きらきらクラブ

高坂丘陵地区で活動する桜山きらきらクラブは、今年新たに設立された会員30人のシニアクラブで、月に4回程度活動しています。

高坂丘陵地区では、こども世代が独立し、一人暮らしになる高齢者が増えていることから、近所の人たちが近くの場所で集まるコミュニティの必要性を感じ、シニアクラブの設立に至りました。とにかく仲良く活動して、みんながキラキラできるクラブにしていきたいと考えています。

桜山きらきらクラブ 代表
齋藤薫子さん



桜山きらきらクラブ 主な活動

- グラウンドゴルフ
- パークゴルフ
- 健康マージャン
- モルック
- 健康体操

健康マージャン参加者からは「頭の体操にもなり健康維持につながる」と喜びの声がありました。また、モルックではピンをたくさん倒すと「すごい！」などの歓声も多く、盛り上がっています。



元気な時から地域でコミュニケーションを取っておくことが、助け合いのためにも大切です。地域のシニアクラブの設立を考えている人は、市にご相談ください。

【シニアクラブとは】おおむね60歳以上を対象とし、身近な地域で自主的に活動をしている組織で、仲間づくりや健康づくり、地域づくりを行っています。シニアクラブの見学等のご相談は、お近くのシニアクラブや高齢介護課までお気軽にご連絡ください。

問 高齢介護課
☎21-1406
FAX 22-7731



市HP